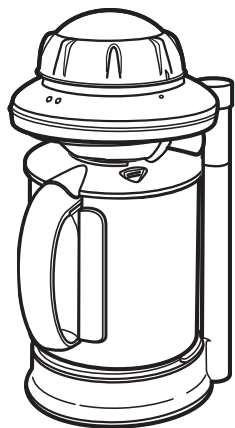


感動をデザインします

**TWINBIRD**

pd版

マイコン  
電気豆乳メーカー  
**KC-D652**  
**取扱説明書**



このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよく読んでから使用してください。不適切な取扱いは事故につながります。この取扱説明書は必ず保管してください。

RX0205A

**もくじ**

安全上のご注意	1
各部の名称とはたらき	2
使いかた	3~ 7
お手入れ	8
こんなときは	9
アフターサービス 仕 様	.. 10
交換用部品のお求めについて	

## ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。

この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

- 1 お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。
- 2 お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件を一緒に付す必要があります。
- 3 お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。

このコンテンツはWeb上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

この資料並びにコンテンツに保証書は掲載しておりません。

この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものであります。

デザイン、仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

# 安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

## 警告



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。



けがややけどをする恐れがあります。



本体は水につけたり、水をかけたりしないでください。



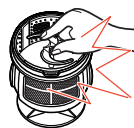
ショート・感電の恐れがあります。



豆乳を注ぐ時や容器からフタを取ると熱い蒸気が出ます。手や顔が蒸気に触れないよう注意してください。



カッター刃は鋭利ですので直接手を触れないでください。



けがの原因になります。



修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。



発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

## 注意



容器に必ず水を入れてください。お湯を入れると吹きこぼれてやけどの恐れがあります。



できあがり直後に続けてスイッチを入れないでください。吹きこぼれてやけどの恐れがあります。



交流 100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。



使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



使用中の容器に触れないでください。

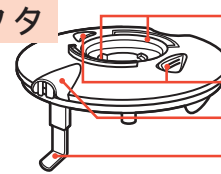
使用中の容器は熱くなっていますので、触れるとやけどの原因となります。



この製品は豆乳専用です。大豆と水以外の材料は使用しないでください。故障の原因となります。

## 各部の名称とはたらき

### 容器フタ

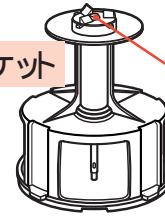


泡センサー接点

つまみ部  
取っ手部

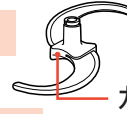
泡センサー電極  
泡だちを感知し吹きこぼれを防止します。

### 粉碎バスケット



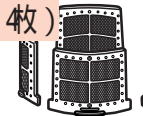
ジョイント部

### カッター



カッターつまみ部

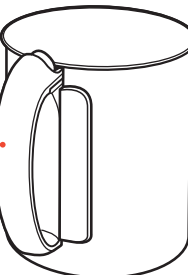
### フィルター(枚)



### バスケットキャップ



### 容器



容器取っ手

### 付属品

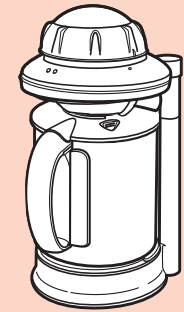


計量カップ へら付 ブラシ こし袋 こし袋ハンドル

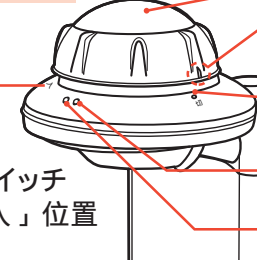
~マイコンモーター動作プログラム~

0~7分	7~11分	11~26分	26~30分
休止	20秒動作0秒休止	休止	5秒動作5秒休止

### セットした状態



### 本体



ドームキャップ

スイッチマーク

スイッチ「切」位置

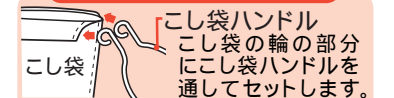
スイッチ「入」位置  
通電ランプ  
できあがりランプ

ヒーター

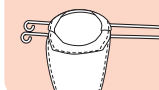
電源コード

電源プラグ

### こし袋の取付けた



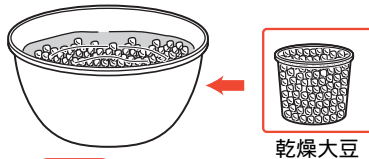
こし袋ハンドル  
こし袋の輪の部分にこし袋ハンドルを通してセットします。



取付けた状態

# 使いかた

## 1 乾燥大豆を計量して水に浸します。



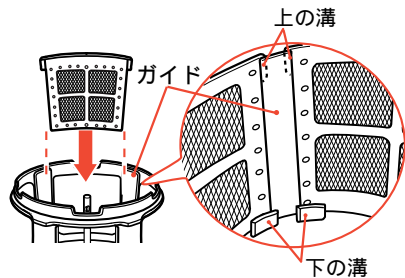
乾燥大豆

一回に使用する乾燥大豆は 130g~ 140gが適量です。付属の計量カップで、すり切り以上の乾燥大豆をよく洗ってボウルなどに入れ、水に浸します。乾燥大豆重量の 3倍以上の水に 5~ 7時間、冬の冷たい水の場合は 8~ 10時間、大豆表面の皮のしわが取れるまで浸します。

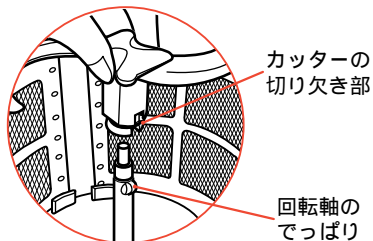
### 注意

乾燥大豆を水に浸さないと大豆が粉碎されず、豆乳ができません。また、故障の原因となります。煎った大豆や大豆以外のものは使用しないでください。乾燥大豆は計量カップすり切り量（約 130g）より少なく入れないでください。130gより少ない場合は、泡が発生しやすくなる為、吹きこぼれ防止の泡センサーがはたらき動作が停止する場合があります。泡センサーがはたらきますと、通電ランプが点滅し、「ピー」というエラー警告音が連続して鳴り動作が停止しますが、故障ではありませんので、あらためて適正量の大豆、水でやり直してください。（途中となった大豆は再度使用できません。）

## 2 水に浸した大豆を粉碎バスケットの中に入れます。



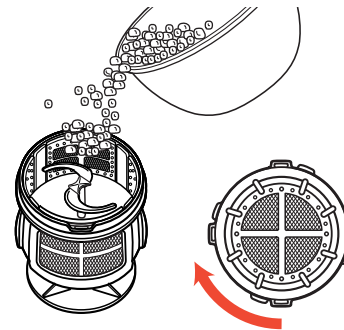
粉碎バスケットにフィルターを取付けます。内側のガイドにそってフィルター 4枚を上から入れ、ガイドの上下の両側の溝にしっかりと差し込みます。



粉碎バスケットにカッターを取付けます。カッターつまみ部を持って回転軸のでっぱりとカッターの切り欠きを合わせて差し込みます。そして「カチッ」と音がして固定されるところまで確実に押し込みます。

### 注意

カッターの取付け・取りはずしの際は、刃の部分に触れないように注意してください。カッターが確実に取付けられていないと、大豆が粉碎されなかったり、カッターが破損する場合があります。



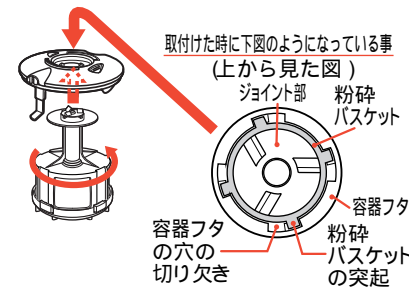
水に浸した大豆の水をよくきって、粉碎バスケットの中に入れます。

粉碎バスケットにバスケットキャップをかぶせ、矢印方向に回し取付けます。

### 注意

大豆の入った粉碎バスケットに、落下などの強い力を加えるとカッターがはずれる事があります。そのまま使用するとカッターが破損します。力が加わった場合はカッターをもう一度差し込み直してください。

## 3 粉碎バスケットを容器フタに取り付けます。



容器フタの水をふきとり、容器フタの中心に内側から粉碎バスケットのジョイント部を挿入します。

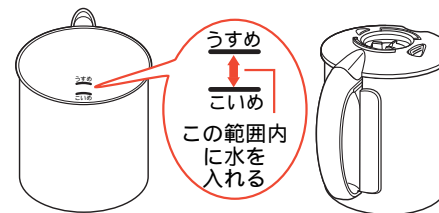
粉碎バスケットの突起と容器フタの穴の切り欠きを合わせて挿入します。

粉碎バスケットを矢印方向に「カチッ」と固定される位置まで回転させ、取付けます。

### 注意

粉碎バスケットが容器フタに固定されていないとジョイント部が破損する場合があります。

## 4. 容器に水を入れ、粉碎バスケットを取付けた容器フタをセットします。



水を容器の目盛りの「こいめ」と「うすめ」の範囲内に入るように入れます。水の入った容器の中に容器フタのついた粉碎バスケットを入れます。容器フタの取っ手部を容器取っ手の位置に合わせてフタをします。

粉碎バスケットが容器フタから外れていない事を確認してください。

### 注意

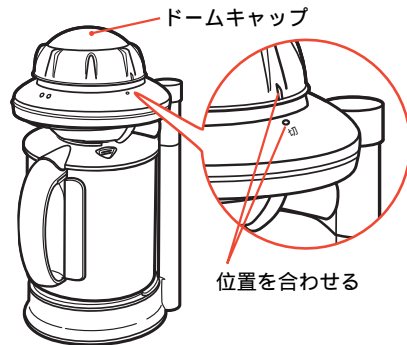
△お湯は絶対に入れないでください。吹きこぼれてやけどや故障の原因となります。

△水は「うすめ」目盛りより多くしないでください。多いと吹きこぼれてやけどや故障の原因となります。

水は「こいめ」目盛りより少なくしないでください。少ないと大豆が、良く粉碎されなかったり、故障の原因となります。

大豆を浸した水は使わないでください。豆乳に臭いがつきます。

## 5.容器を本体のヒーターの上に置きます。

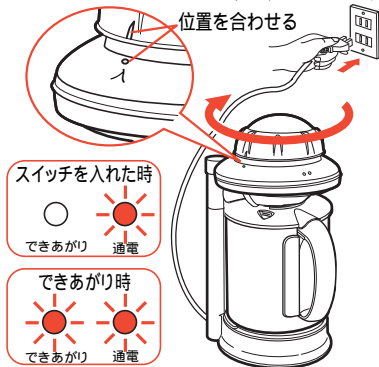


スイッチが切になっている事を確認してください。本体の前から容器を入れ、ヒーターの中央部に置きます。容器取手が図のように正面の位置になるようにして、容器が傾いていないことを確認してください。

### 注意とお願い

ドームキャップのスイッチマークを「切」の位置に合わせてください。合っていない場合、容器は本体に入りません。ヒーターと容器の底の間にゴミ等の異物が入らないようにしてください。異物が入ると熱が容器に伝わらず、豆乳の温度が上がりにくくなります。

## 6.スイッチを入れます。



電源プラグをコンセントに差し込みます。ドームキャップを矢印方向に止まるまで回転させ、スイッチマークを「入」の位置に合わせてください。

ドームキャップを回した時、回転がかたい場合や「入」の位置まで回転しない場合は、一度ドームキャップを「切」の位置にもどし、容器を入れなおしてください。無理に回すと粉碎バスケットのジョイント部が破損します。

スイッチが入り、通電ランプが点灯し、マイコン制御で調理を開始します。

カッターは約7分後から回転します。

約30分で「できあがり」ランプが点灯し、「ピー、ピー」とブザー音が鳴り、豆乳が出来上がります。(出来上がりの豆乳温度は約80~95ですが、季節によって異なります。特に寒い季節ではぬるく出来上がる事がありますので、20~30程度の水を使用するか出来上がり後、別の容器に移して再度加熱してください。

### 注意

- △感電や製品故障防止のために、ぬれた手で操作しないでください。
- △使用中、容器とヒーターは熱くなります。また、容器から蒸気が出ることがあります。やけど防止のため、触れないようにしてください。使用中電源を切らないでください。マイコンでモーターとヒーターの通電時間を制御していますので途中で電気が切れると、うまく豆乳が出来なかったり、吹きこぼれの原因となります。スイッチを入れた直後や動作途中で通電ランプが点滅し「ピー」と連続したブザー音がなった場合は、「こんなときは」(9ページ)をご覧ください。動作中に粉碎音が変わることがあります。大豆の粉碎状態の変化によるもので異常ではありません。

## 7.豆乳を取り出します。



ドームキャップを矢印方向に回しスイッチマークを「切」の位置に合わせてください。

「通電」ランプ、「できあがり」ランプが消え、スイッチが切れます。

電源プラグをコンセントから抜きます。

容器取手を持って容器を本体から取り出します。

容器フタの上にふきんなどを置き、手が熱くならないようにして容器フタを押さえ、容器から豆乳を他の容器に移します。

豆乳を全部移したら、容器フタをした状態で2~3分置いてください。粉碎バスケットから豆乳がしみ出て来て容器に少したまりますので、同様にして他の容器に移してください。

熱いうちに飲みたい時はそのまま飲んでください。冷やして飲みたい時は、さましてから冷蔵庫に入れてください。

なま物ですので、早めにお召し上がりください。

できあがった豆乳には、ごく微細なおから分が混じります。気になるときは付属のこし袋で熱いうちにこしてください。使用後は、こし袋をこし袋ハンドルより取りはずし、よく洗って保管してください。



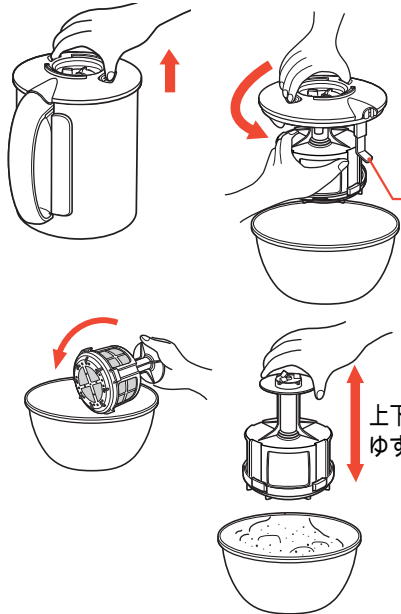
### 警告

豆乳を注ぐ時や容器からフタを取ると熱い蒸気が出ます。手や顔が蒸気に触れないよう注意してください。

### 注意

- △電源プラグを抜く時は、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
- △容器とヒーターは熱くなっています。容器取手以外に触れないよう注意してください。ドームキャップのスイッチマークを「切」の位置まで回さないと、容器が本体からはずれません。容器は直火にはかけられません。再加熱のときは、別のなべに入れて行ってください。容器から粉碎バスケットを取り出す際に熱い豆乳が滴り落ちますので、お皿等で受けてから移動させてください。容器に豆乳を入れたまま、保存しないでください。

## 8 おからを出します。(容器が冷めてからにしてください。)



容器フタのつまみ部を持って上へ持ち上げます。あらかじめ深めの容器を用意しておき、その上に置きます。

粉碎バスケットが冷めてから容器フタを矢印方向に回しはしません。(容器フタから泡センサー電極が出ていますので注意してください。)

泡センサー電極

バスケットキャップがさめてから、粉碎バスケットを深めの容器の上で横にし、バスケットキャップを矢印方向に回してはしません。

深めの容器の上で粉碎バスケットを上下にゆすっておからを出します。

おからは料理にも使えます。

上下に  
ゆすって

お願い

大豆の品質により少量の大豆が粉碎されないで残る場合があります。大豆の量を少し減らすとよく粉碎され残りになります。

△注意

粉碎バスケットが冷めても、中のおからは熱くなっています。手に触れるとやけどの恐れがあります。ご注意ください。バスケットキャップを下にしてはせずと、中のおからが出てきて手に触れる場合があります。必ず横にしてはしてください。

## 9 お手入れをしてください。

粉碎バスケット、フィルター、カッター、バスケットキャップ、容器、容器フタをよく洗ってください。おからや豆乳が残っていると変色や臭いの発生の原因となりますし、バスケットキャップやフィルターの網の目がつまり、大豆がよく粉碎されない原因になります。「お手入れ」(8ページ)をご覧ください。

次の豆乳を作るとき注意

連続して豆乳を作らないでください。故障の原因となります。次に豆乳を作る時は必ず、30分以上休ませてから使用してください。豆乳、おからを必ず取り出しお手入れのあと新しい大豆、水を入れてから使用してください。豆乳完成後、豆乳、おからを取り出さない状態で、そのままスイッチを入れ直すと、吹きこぼれや故障の原因となりますので、絶対にしないでください。

## お手入れ

お手入れをする時は、スイッチを切り電源プラグを抜いて行ってください。乾かないうちに洗ってください。おからは乾くと硬くなって取れにくくなります。洗った後は必ずふきなどで水気を取り、乾かしてください。ぬれたままにしておくと臭いがすることがあります。カッターやフィルターはぬれたままにしておかないでください。さびることがあります。金属たわしや、金属ヘラ、クレンザーは使用しないでください。食器洗い乾燥器では洗わないでください。変形することがあります。

ご使用されるにつれ、粉碎バスケット・フィルター・バスケットキャップの色が変わりますが、人体に影響はありません。

容器



細かいおからや豆乳分が底にこびりつきます。付属のへら付ブラシなどで底のこびりつきをこすって落としてください。内面をたわしなどでこすって豆乳かすをきれいに落としてください。きれいに洗ったら必ず乾かしてください。

粉碎バスケット



必ずカッターをはずしてからお手入れを行ってください。カッターはつまみ部を持ってひっぱると取れます。水をかけておからを流し落とします。フィルターをはずし、粉碎バスケットの内・外面を付属のへら付ブラシでこすり汚れを落とします。プラスチック面はスポンジでこすって汚れを落とします。

容器フタ

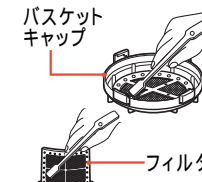


外面は水をかけてスポンジで洗ってください。細かい所はブラシで洗ってください。

汚れが落ちにくい場合や、汚れが乾燥してしまった場合

一度ぬるま湯に浸けてしばらく放置し、汚れが柔らかくなってからお手入れをしてください。ぬるま湯に浸ける時「食器洗い乾燥機用洗剤」を入れると一層効果的です。

フィルター・バスケットキャップ



バスケット  
キャップ

フィルター

大きなおからは水をかけて流し落とします。網に付いたおからは水を付け付属のへら付ブラシで両面を、良くこすって落としてください。

お願い

網に付いたおからは乾燥すると取れにくくなります。乾燥する前にブラシできれいに落としてください。

カッター

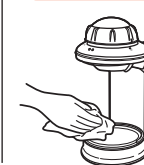


粉碎バスケットから取りはずし、付属のへら付ブラシで水をかけてこすってください。

△注意

カッターの刃の部分は鋭利ですので手を触れないよう注意してください。

本体



湿ったふきんできれいにふき取ります。

△注意

水洗いは絶対にしないでください。

## こんなときは... ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなときは	原因	処置
容器が本体に入らない。	容器フタが容器に正しい位置にしっかりセットされていますか？	容器フタを正しい位置にしっかりセットします。
	ドームキャップのスイッチマークが「切」の位置になっていますか？	ドームキャップのスイッチマークを「切」の位置にします。
通電ランプが点灯しない。	本体の電源が接続されていますか？	電源プラグをコンセントに差し込みます。
	ドームキャップのスイッチマークが「入」の位置になっていますか？	ドームキャップのスイッチマークを「入」の位置にします。
スイッチを入れた直後通電ランプが点滅し、「ピー」という音が鳴り続ける。 (容器の位置検知でエラーになり、動作が停止しています。)	容器が正しくヒーターの中央部に置かれていませんか？	ドームキャップを「切」まで回してから容器を取り出し再度、ヒーターの中央部に置いてください。
	容器フタがぬれていませんか？	容器フタの水をふき取ってください。
動作の途中で通電ランプが点滅し「ピー」という音が鳴り続ける。 (カッター動作初期に多くの泡を検知、又はカッターを動かしているモーターの過熱を検知してエラーになり、動作が停止しています。)	乾燥大豆を付属の計量カップすり切りより少なくしていませんか？	乾燥大豆を付属の計量カップで計り130g~140gとしてください。 3ページをご覧ください。
	水量が「こいめ」の目盛りより少なくありませんでしたか？	水を容器の「こいめ」「うすめ」の目盛の範囲内に入れてください。
	30分以上休ませないで連続して豆乳を作っていますか？	30分以上休ませてから使用してください。
	豆乳を作っている途中で電源が切れ、再度電源を入れませんでしたか？	電源が切れた場合は、続けずに、新しく作りなおしてください。
多くの大豆が粉砕されないそのままの形で、残る。	乾燥大豆を140g以上使っていますか？	乾燥大豆を付属の計量カップで計り130g~140gとしてください。 3ページをご覧ください。
	大豆を浸す時間が短かすぎませんでしたか？	大豆を5~7時間、冬の冷たい水の場合は8~10時間大豆表面のしわが取れるまで水に浸してください。
	水が「こいめ」の目盛りより少なくありませんでしたか？	水を容器の「こいめ」「うすめ」の目盛の範囲内に入れてください。
	フィルターやバスケットキャップの網の目がつまっていますか？	網をよくブラシで洗ってください。 「お手入れ」(8ページ)をご覧ください。
	カッターが外れていませんか？	カッターを「カチッ」と音がして固定される所まで差し込んでください。
豆乳がふきこぼれる。	容器フタのセンサー接点が汚れていませんか？	容器フタのセンサー接点の汚れをふき取ってください。
	豆乳を作っている途中で電源が切れ、再度電源を入れませんでしたか？	電源が切れた場合は、続けずに、新しく作りなおしてください。
豆乳が熱くならない。	容器に水を「うすめ」の目盛りより多く入れすぎていませんか？	水を容器の「こいめ」「うすめ」の目盛の範囲内に入れてください。
	ヒーターと容器の間にゴミ等の異物がはさまっていませんか？	異物を取り除いてください。
	冷たい水を使っていますか？	冬場等で冷たい水の場合は、お湯を足して、20~30にしてご使用ください。

## アフターサービス

### 1.保証書

裏表紙に添付しています。  
保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

### 2.保証期間

お買い上げ日から 年間です。

### 3.修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または当社「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

保証期間中の修理  
保証書の規定により無料修理します。  
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店か当社「お客様サービス係」までお申し出ください。

保証期間がすぎている修理  
修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。  
お買い上げの販売店か当社「お客様サービス係」にご相談ください。

### 4.アフターサービスについてご不明の場合

当社「お客様サービス係」にお問い合わせください。

#### お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120-33-7455

FAX (0256) 93-1077

お電話承り時間: 平日(月曜~金曜)午前時~午後5時  
〒959-0292 新潟県西蒲原郡吉田町大字西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

## 仕様

電 源	AC 100V 50-60Hz
定 格 消 費 電 力	680W
容 量	乾燥大豆: 130g~140g(3ページをご覧ください。) 水: 約0.9L(容器の「こいめ」「うすめ」の中央)
できあがり容量(約)	豆乳: 0.7L
できあがり時間の目安(約)	30分
製 品 寸 法 ( 約 )	185×205×365mm
製 品 質 量 ( 約 )	2.9kg
電 源 コ ー ド	長さ 1.4m
付 属 品	豆乳健康読本、こし袋、こし袋ハンドル、へら付ブラシ、計量カップ

### 交換用部品

交換用部品のお求めは、販売店または直接当社「お客様サービス係」へお申し込みください。

粉砕バスケット	容器フタ	容器	こし袋ハンドル	計量カップ
				
フィルター	バスケットキャップ	カッター	こし袋	へら付ブラシ
		